

# 1. 評価結果概要表

評価確定日 平成20年 10月 17日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2276200207
法人名	有限会社 ワイ・エイチ企画
事業所名	グループホーム サンシティ掛川
所在地 (電話番号)	静岡県掛川市杉谷南 1-15-13 0537-62-2002
評価機関名	セリオコーポレーション株式会社
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成20年5月24日

## 【情報提供票より】(平成20年05月01日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 04 月 01 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 14 人, 非常勤 3 人, 常勤換算	15.5 人

### (2) 建物概要

建物形態	併設	新築
建物構造	鉄骨 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,100 円	その他の経費(月額)	9,900 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 90,000 円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	400 円	昼食 500 円
	夕食	600 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,600 円		

### (4) 利用者の概要(平成20年5月1日現在)

利用者人数	16 名	男性 4 名	女性 12 名
要介護1	5 名	要介護2	4 名
要介護3	5 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83.4 歳	最低 64 歳	最高 95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	掛川市立総合病院 ・ 袴田歯科
---------	-----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、掛川市民病院の北側に隣接する土地区画整理地域に位置する。地域密着型に相応しい新しい理念を定め、職員は毎日唱和しながら、利用者が安心・安全・飽きのこない生活が送れるよう支援している。施設長と職員の連携も良く、家族アンケートでも職員の笑顔と家庭的な雰囲気が高く評価されている。新興住宅地としての難しさは有るが、更に地域との交流を図り、運営推進会議を着実に開催することにより、一層地域密着型に相応しいホームに発展することが期待される。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	管理者及び職員の改善意欲は高く、昨年の指摘項目は殆ど改善されていた。
重点項目①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者・職員は外部評価の意義を理解し、初心に帰るいいチャンスだと捕らえている。今回の自己評価票作成には全員で取り組み、1・2Fユニットの特徴が良く表わされており、更なる改善の手がかりにしようとしている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	今年の3月に第1回目が開催され、家族代表・自治会長・副会長・ホーム管理者が参加し、ホームの現状報告や課題が話し合わせ、スタートが切れた。しかし、市職員・包括職員・民生委員等の参加は見られなかった。お互いに忙しい現状は理解できるが、運営推進会議の主旨を再確認し、事前の日程調整・案内のタイミング等も検討し、定期的に開催できるよう検討された。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	重要事項説明書に苦情・相談窓口が明記され、入り口にはご意見箱も在り、何時でもご意見を受け入れ、それを運営に生かす体制にある。金銭管理・定期検診・体調不良時の随時の報告が行われている。また、1・2F毎の全体の暮らし振り・お花見・外食の様子などをお知らせする、毎月の「サンシティ掛川便り」も発行されている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	新興住宅地のためか自治会へは未加入である。ボランティアの受け入れ、夏祭り・秋祭りへのお誘い等があるが、地域行事への参加や交流は散発的である。法改正の主旨に反し、地域には「グループホームは一種の営利団体である」という認識が残っているのかも知れない。地域での利用者の生活を支えるため、正しい理解を得るために粘り強い努力の継続が望まれる。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型に相応しく、新しい理念として「入居者様が地域住民として・・・地域との交流の下で・・・」と明確に謳っている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員は、利用者が安心して安全な飽きのこない生活が送れるよう、新しい理念を見やすい壁面に掲示して毎日唱和し、理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	新興住宅地であるため、地域活動の活性化はこれからであるが、東側の公園も整備されてきており、自治会にも加入している。ボランティアの受け入れや夏祭り・秋祭りへのお誘い等もあり、地元の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員は外部評価の意義を理解し、昨年の指摘事項に対して改善に取り組むと共に、今回の自己評価票作成には全員で取り組み、1・2Fユニットの特徴が良く表わされていた。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年の3月に第1回目が開催され、家族代表・自治会長・副会長・ホーム管理者が参加し、ホームの現状報告や課題が話し合われ、スタートが切れた。しかし、市職員・包括支援センター職員・民生委員等の参加は見られなかった。	○	お互いに忙しい現状は理解できるが、運営推進会議の主旨を再確認し、事前の日程調整・案内のタイミング等も検討し、定期的に開催できるよう検討されたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月福祉サービス提供者連絡調整会議が開催され、「後期高齢者医療制度」等の時宜を得た話題を取り上げ、共にサービスの質向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	金銭管理・定期検診・体調不良時の随時の報告が行われている。また、1・2F毎の全体の暮らし振り・お花見・外食の様子などをお知らせする、毎月の「サンシティ掛川便り」も発行されている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情・相談窓口が明記され、入り口にはご意見箱も在り、何時でもご意見を受け入れそれを運営に生かす体制にある。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職が最小限になるよう努めている。職員の教育を狙いとした1・2Fの職員の異動に際しても、最初は昼の勤務のみにする等、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	1・2Fの職員の経験交流・日常の仕事を通じてのOJT(職場内での実務研修)は行われているが、レベル・経験に応じた法人内外の研修計画は見られなかった。	○	最初から年間計画を作成しておかないと、日常の忙しさが優先されてしまう恐れが考えられる。是非計画を策定し、着実に実行されたい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福祉事業者連絡調整会議や法人内施設の会議に参加し、交流や情報交換に努めているが、ネットワーク作りや相互訪問等を行うまでには至っていない。	○	ホームだけでは難しい問題であり、市・包括支援センター・同業者への働きかけを粘り強く行うよう望みたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に見学をお願いしており、その時に利用者の生活歴などを詳しく聞き、その生活に近づけるよう努力している。また、ホームはデイサービスを併設しており、そこの利用から継続し入所となる場合もあり、比較的馴染みやすい。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者を人生の先輩であるという思いで日々過ごしており、若い職員の知らない昔のしきたりや食器の洗い方、料理の仕方など様々なことを利用者から教えていただいている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人一人の希望を、時間をかけ聞きだしている。利用者の生活歴の時代把握をしっかりと行っており、家族等の話などと合わせ、利用者本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護記録に、利用者の発した「あ～あ」などの話言葉を細かく記載し、利用者の変化を読み取ろうと努力し、月1回の職員ミーティングに活用している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは3ヶ月に1回行っている。利用者にて段の変化が認められた場合は職員ミーティングを行い、その都度介護計画の見直しを行っているが、変更計画に家族の署名・押印がされていなかった。	○	見直された介護計画は家族にも説明され了解を得ているが、その確認のために署名や押印を求めることが望ましい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	かかりつけ医への受診支援や外出など、利用者、家族の要望に応じ柔軟な対応をしている。家族等の面会は、自由で何時でも可能である。併設しているデイサービスの行事に参加することも臨機応変に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族の了解の下、かかりつけ医を受診している。医療が必要な場合のマニュアルを作成しており、近隣薬局の助言も利用している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重症化、終末期のあり方は、文章化された指針を持っている。それを基に医師、利用者、家族と話し合いを持ち、利用者、家族の意向を汲み取っている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の記録等は、名前が見えない様にして事務所、事務スペースに保管している。また、利用者の尊厳が保たれる様に「ちゃん」づけで呼ばないなど、声掛けへの配慮がみられた。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある入所者は、2階の居室のベランダから外の風景を眺めることを日常とされている。手すりが低いにもかかわらず、そのことを見守っている職員の姿は、とても頼もしく思えた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	土、日曜日は、職員と利用者が共に食事を作り、その他の日は、汁物を一緒に料理している。調査当日は土曜日であったので、職員、利用者合作の昼食をいただいた。品数豊富で職員からの差し入れの旬の竹の子も料理されていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	家庭的な浴室は、とても落ち着ける雰囲気であり、入浴は毎日可能である。柑橘類などを浮かべ、入浴を楽しむことができるよう、職員が努力している姿が見受けられた。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	塗り絵などを趣味とされている利用者を見受けた。また、居室にパーソナルコンピュータを持ち込まれている利用者もおられ、職員が、「パーソナルコンピュータの使い方、教えてもらおうかな」の言葉は、利用者の方の励みにもなるであろう。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は散歩に出かけたり、利用者から買い物の希望があれば、近隣スーパーや100円ショップに行ったりしている。花見の季節には、皆で東京女子医大付属看護科の運動場などに出かけ、外食では、回転寿司などにも行っている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は玄関などに施錠されておらず、自由に出入り可能である。職員は過去に利用者の徘徊行為などを経験しているにもかかわらず、辛抱強く見守りを継続実践している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	施設職員の防災意識は高く、緊急連絡網も整っている。防災訓練等は消防署との連携も取れており、最も重要な近隣住民の参加や話し合いも行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの水分摂取に対しては介護記録に摂取時間、回数を記録していた。食事面では平日は給食サービスを利用しているが、食事量の記録・栄養バランス・カロリー計算などもされていた。土日は利用者それぞれの嗜好を取り入れたメニューとし、共に買出し・食事の支度をするなどの楽しみを作ることも行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は、熊野(ゆや)の長藤祭りでの笑顔一杯の写真や金魚の水槽・季節の花によって飾られている。清潔感の漂う空間で、カーテン越しに入る光と風は、爽やかで気持ちのよいものであった。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、思い思いの写真、ぬいぐるみが飾られ、使い慣れた筆筒などが持ち込まれている。仏壇や冷蔵庫などを持ち込んでいる利用者も見られ、生活感の溢れる居室作りがされていた。		